

## 【緑区】令和3年第1回区づくり推進横浜市議会議員会議 議事録

開催日時	令和3年2月5日 午後2時57分 ～ 午後3時50分
場 所	緑区役所4階 会議室4AB（議員はリモートで出席）
出席者	<p>【座 長】鴨志田啓介 議員</p> <p>【議員：3名】今野典人 議員、高橋正治 議員、斉藤達也 議員</p> <p>【緑区：14名】岡田展生 区長、植木八千代 副区長</p> <p>室谷洋一 福祉保健センター長</p> <p>萩原健司 福祉保健センター担当部長</p> <p>新田巧 緑土木事務所長</p> <p>ほか関係職員</p>
議 題	1 令和3年度 個性ある区づくり推進費 予算案
発言の旨	<p><b>議題1 令和3年度 個性ある区づくり推進費 予算案</b> （区長、副区長説明）</p> <p>【1 災害に強いまちづくり事業】</p> <p>斉藤議員：区役所のWi-Fiやインターネット環境に関して、どのような改善をされたのか。</p> <p>山田総務課長：会議室にインターネット回線を引き込み、Wi-Fi機能のあるルーターを付けました。また、既存の庁内専用回線でZoom会議が行えるパソコンも市から提供されています。その他、BWA（地域広帯域移動無線アクセス）システムのポケットWi-Fi22台を活用することも可能です。</p> <p>斉藤議員：これで終わりということではなく、オンラインによる業務効率化や集約化にも取り組んでいただきたい。</p> <p>高橋議員：コロナ禍において、各自治会での防災や感染症対策をどのように進めていくのか。</p> <p>山田総務課長：地域防災拠点の運営委員を対象に、拠点開設時の新型コロナウイルス感染予防対策研修を3年度も引き続き実施します。拠点や地域の方々の環境が整えば、WEB開催により会わなくてもコロナ対策等について討議ができますので、必要な環境づくりをしていきたいと思っております。</p> <p>高橋議員：災害はいつ来るか分からないので、現段階でどこまで徹底されているかを見ながら、早期に実施していただきたい。</p> <p>今野議員：新型コロナウイルス感染症対策事業で購入する間仕切りテントは、どのようなものをどれだけ買う計画か。</p> <p>山田総務課長：2～3人位が入れる小さなテントを、各拠点に2個購入し</p>

ます。また、簡易ベッドを各拠点に3個購入します。

## 【2 安全・安心まちづくり推進事業】

齊藤議員：振り込め詐欺被害防止事業では、簡易型自動録音器の配布のみか。啓発活動はしないのか。

岩岡地域振興課長：簡易型自動録音器については、在庫のほとんどを配布しました。啓発については、防犯情報メールなどを通じて犯罪情報を提供しています。

齊藤議員：振り込め詐欺の撲滅を目指し、市民団体との連携や YouTube の活用など様々な形で取り組んでいただきたい。

## 【4 交通安全施設等整備事業】

齊藤議員：歩行者の交通安全対策はこれまでも行ってきたはずだが、改めて新規事業として打ち出した理由は何か。

川崎緑土木事務所副所長：港南区で起きた事故以降、通学路に対する関心はかなり高まっています。これまでもスクールゾーンの安全対策の取組を進めてきましたが、十分に対応し切れていなかった状況もあるため、特に区民に身近な道路での安全対策を積極的に進めていきたいと考えました。

齊藤議員：どの箇所をどのように整備されるのか、資料ができ次第議員団に提供していただきたい。

## 【5 暮らしの衛生推進事業】

齊藤議員：コロナ禍におけるペット防災をどのように進めていくのか。

古家生活衛生課長：コロナ禍では集まって話をするのが難しい状況ですが、地域からの要望を受け、できる限りの啓発を進めています。

齊藤議員：市民啓発講演会は、オンラインではなくリアル開催の方向か。

古家生活衛生課長：現在のところリアル開催を予定しています。

齊藤議員：続けていくことが大事であることから、リアルとオンラインを組み合わせるなど、中止としないように工夫をして実施していただきたい。

齊藤議員：子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発とは、どのようなことをするのか。

古家生活衛生課長：イベント等の機会の活用やポスターの設置、学校での普及啓発を考えています。

### 【7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業】

今野議員：独り暮らしの高齢者がコロナ禍で外出しにくくなっているが、状況を把握しているのか。

室谷福祉保健センター長：民生委員が普段から困っている方の情報を把握していますので、積極的に電話やインターホン越しにお話しするなど、工夫して見守りを行っています。

今野議員：民生委員活動マップとはどのようなものか。これまでもあったのか。

室谷福祉保健センター長：ゼンリンの地図をベースに新たに作成します。担当エリアをマップに落とし込み、境界の部分で漏れなどが出ることはないようにするもので、今年度中に完成させます。3年度はマップの修正、見直しを行います。

今野議員：民生委員は、自分たちで地図を買う必要はないという認識でよいか。

室谷福祉保健センター長：今年度完成するマップをお使いいただけます。

### 【8 あんしん子育てネットワーク事業】

齊藤議員：ママのハートバランス事業の個別相談15回、スーパーバイズカンファレンス1回はどのように進めていくのか。

五十川こども家庭支援課長：この事業については、個別対応で、集合的なものではありませんので、コロナ禍でも継続して実施しています。コロナ禍で育児に係る相談も増えていますが、保健師などが自宅訪問や電話にて対応しています。

齊藤議員：コロナ禍での育児はさらに孤立感も増すことから、オンラインでの相談会など、区役所から積極的に寄り添う姿勢が大事ではないか。

五十川こども家庭支援課長：相談等をオンラインで受けることについて、子育て支援拠点と相談しながら検討していきます。

齊藤議員：オンラインでの傾聴活動を積極的に企画していただきたい。

### 【14 花と緑あふれるふるさと緑区事業】

今野議員：花と緑を育てるサポーターの育成により、公園愛護会などの活動団体と、団体には入っていないが花壇の手入れなどをしたい人たちとをつなげていくことはできるのか。

川崎緑土木事務所副所長：最終的にはそれを目指したいと考えています。公園愛護会などの担い手不足の解消とともに、横のつながりづく

りを図っていきます。

### 【27 地域振興事業】

齊藤議員：自治会活動を含めてオンラインを活用しながら、高齢者の参加や外国人との交流につながる新たな企画にも取り組んでいただきたい。

今野議員：自治会でのリモート会議の開催に向けて、区役所主導のリモート会議を体験させてもらうことはできるか。

岩岡地域振興課長：自治会でのICT活用について市民局が事業化しており、緑区は11の地区連合会のうち9地区に体験していただく予定です。それを踏まえて、今後の展開を考えていきます。

### 【28 市民活動パワーアップ支援事業】

齊藤議員：緑区地域課題チャレンジ提案事業スタートアップについて、「チャレンジ提案事業」は既存事業だが、新規扱いとしたのは何が変わったのか。

岩岡地域振興課長：チャレンジ提案事業のうち、チャレンジコース、連携コースは市民局の予算を活用して実施し、裾野を広げるためのスタートアップコースは区づくり推進費で対応することで、更なる充実を図るものです。

齊藤議員：もともと区づくり推進費でスタートした事業が市民局の事業になり、再び区で実施することになるが、局と区の役割分担はどうなっているのか。

岩岡地域振興課長：市民局の予算はチャレンジコース等に活用しますが、区では、自治会・町内会をはじめ、様々な市民団体、NPO化していない組織が初めて取り組む事業にもよく耳を傾けて、対応していきます。

### 【令和3年度予算編成に向けた「区提案反映制度」提案案件一覧】

高橋議員：「緑区役所東側出入口への屋根（庇）設置」の状況について確認したい。

山田総務課長：設置に向けて市民局と連携して進めています。今は傘を置き、来庁者に利用していただいておりますが、それだけでは不便なので、庇を設置するための設計を3年度に行います。

備 考